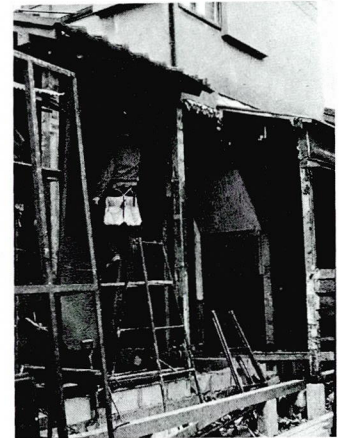




住宅の修繕資金が借りられます

用紙配付 12月13日～52年1月22日
受付期間 52年1月17日～22日



住宅修繕資金 融資制度を新設

港区住宅修繕資金融資制度は、このたびが新しく設けて実施するものです。
区民の皆さんが、住宅の一部を修繕する場合、その資金を区が低利で融資あっせんするものです。
申込み受付は昭和52年1月17日(月)から22日(土)までです。
申込み用紙は12月13日(月)から区役所市民課庶務係(13番窓口)で借受希望の人にお渡しします。
なお、住宅の修繕資金(修繕費)金についての相談は、受付期間前日から区役所市民課庶務係(13番窓口)で行います。
制度の内容は、次のとおりです。

住宅修繕資金 融資制度の内容

▼融資の対象
(1)港区内に住居(住民基本台帳に記載)を有し、引き続き一年以上自己の所有する住宅に居住し、その住宅を修繕(修築)する場合、融資を受けることができ、ただし、同居の親族の所有する住宅でも特別の理由がある場合は、融資を受けることができ、また、

▼特別区民税を完納している人
(2)申込みの時満20歳以上の人
最終償還の時満70歳未満の人
(4)申込者の前年度課税所得額が300万円以下(税込収入額では、500万円前後となり)で、かつ年間償還額の3倍(80万円前後)以上の人です。
※同居の親族の所得を合算することになります。
(5)連帯保証人 一人。申込みの人と同等程度の収入を有し、東京都と同等程度の収入を有し、東京都内に住んでいる満20歳以上の人に限ります。

▼融資額および利率など
(1)融資額 一人 100万円以内
(2)融資利率 年利7%(借受人員負担)
(3)融資期間 すえ置き6か月以内を含む5年以内
(4)償還方法 すえ置き期間(6か月以内)が過ぎてから、元金均等月賦償還。
※いつでも繰上償還をすることができます。
▼手続きに必要な書類など
(1)修築家屋の所有証明(家屋登記簿謄本)
(2)申込者の住民票の写し(世帯全員の写し)
(3)申込者の特別区民税(住民税)区民税(住民税)領収書(または特別区民税(源泉徴収票)または住民税納税証明書) ※課税免除は非課税を証明する書類など。
(4)連帯保証人の所得を証明する書類(源泉徴収票、住民税納税証明書など)
(5)修繕する所の仕様書、図面、見積書および付近の見取図
▼修築の条件など
(1)資金の融資を受けた人は、融資後3か月以内に修繕工事に着手していただきます。3か月以内に工事に着手しない場合は、融資された資金(元金、利息とも)を一括償還していただきます。
なお、この資金は、区で紹介した金融機関から融資を受けるものと同等の収入を有し、東京都内に住んでいる満20歳以上の人に限ります。

初心者のための スキー教室



白銀の世界を、あなたもさっそうとすべりませんか?
2月18日・21日
22日(土)
長野県高野高原スキー場
▽宿泊 港区立小諸高原学園
▽対象 区内在住または在勤の社会人
▽参加費 八、五〇〇円
(交通費、宿泊費)

港区立幼稚園 入園願書を配布

昭和52年度の港区立幼稚園入園児の募集日程がきまりました。
▽入園願書の配布
12月20日(月)～12月22日(水)
1月12日(水)～1月14日(金)
午後2時から4時まで、各区立

▽定員 一〇〇人
▽申込み 1月9日(日)午前9時から、港区スポーツセンターで、参加費とともに受付けます。
必ず本人がおいでください。申込み願書の配布



このような場合
お貸しします
修繕とは、住宅の居住性を高めるための工事、および屋外付帯工事をいいます。

▼住宅修繕資金の融資申込み書類には実印を使用してください。
▼住宅修繕資金の償還は、原則として預金口座からの自動振替としてください。

▼お問い合わせは
区民課庶務係
☎四一四一
内線二四六・二四七

幼稚園で。
▽願書の受付 1月12日(水)～1月14日(金) 午後2時～4時
▽応募の資格 港区内に居住し、昭和47年4月2日から昭和49年4月1日までに生まれた者(2年保育)
▽入園の選考 1月21日(金)午前9時から午後1時
健康診断 1月21日、午後1時
▽問合せ ☎内線三八
各区立幼稚園および学務課学事係

◆愛宕山の「もちつき」大会
恒例の愛宕山「子どももちつき大会」を左記により行います。子どもとお年よりの方は無料です。マとき 12月12日(日)、午前11時より午後2時までの予定。マとき 愛宕神社境内(愛宕山山土) 主催・愛宕神社 後援・氏子町会・愛宕神社
◆問題少年の立ち直りを助けよう
私達B・B・S会員は、登校拒否や不純異性交及、家出、シンナーやポンドの常習、親への乱暴など、問題をもつ少年の良き友となりその更生を助ける活動をしています。もしそのような問題で悩んでいる方がおいたらご相談ください。どなたでも利用できます。毎週火曜午後7時から港区青年館で行っています。
▽問合せ 佐野みつ 2681-2062

◆和歌
白金四一―二―三五
吉野 千賀子
学校のきまうさいにと花をつむ道行く人の視線に
校庭に運動会の音去りてそそぐ月かげなにを語るか
コロギのなきしを聞いたわがむすめうちにもホラほたるがきたよ

◆区民のひろば
し子の口より太平洋に注ぐと聞く。遊覧船で子の口より休屋迄一時間、湖上の景観の素晴らしき。中山半島の見渡りの松、五色沼、中湖のあたり、寒干支路、日暮岩、御倉半島の突端に積木を重ねた様な安山岩の美観は明治の文豪大町桂月の好まれ幾度となく足を運びし所とか。休屋より発荷峠を越え、十和田湖全貌を見渡した時は目眩らせる思い。
二十三日は玉川温泉泊。翌二十四日は盛岡、花巻、中津寺より鳴子温泉泊。翌朝は鳴子峠へ。頗も染まらなばかりなる山々の紅葉、左右の岩石は異風を運んだ様となく格好。飛沫を上げる渓流に添い、溪谷の細道を伝いつつ、その昔歩みし芭蕉を、蕪村を、大町桂月の歌を文章を味いつつ、大地自然に包まれた私は、身いっぱい詩情に濡れていた。青葉城は二、三十分で去り難度く思ひが迫り、城跡寂として秋深み秋風蕭々とした佇い中、名將伊達正宗を想ひ感無量であった。
一路東京へと去るバスに身を置き、一ヶ月余も怪我と火傷に悩まされし右足を忘れ延々と続く東北の田野に目を放した時、秋の日はとっぴり暮れていた。

